

口腔外用サクション  
フリーアーム・アルテオーS  
アルテオーS

# 取扱説明書

医療機器認証番号  
224AHBZX00034000

安全にお使いいただくために必ずお読みください。



このたびは、『フリーアーム・アルテオーS』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この取扱説明書の 警告、 禁忌・禁止、 注意をよくお読みいただき正しくご使用ください。
- この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管し、わからない時は再読してください。
- 電子添文（添付文書）は製品に貼付している銘板の GS1 バーコードを添付文書閲覧アプリ（添文ナビ）にて読み込みご確認ください。  
添文ナビは右の「添文ナビ」QRコードよりご参照ください。  
※銘板の貼付場所は取扱説明書の各部名称のページでご確認ください。



添文ナビ

正しく使って効率アップ

 株式会社 東京技研

## 目次

■機器の表示記号	3
■安全上のご注意	3～4
■医療用電気機器の安全および危険防止のための使用上の注意事項	5
■輸送及び保管に関する環境条件について	6
■電磁適合性について	6
■廃棄について(環境保護)	6
■概要	7～8
■各部名称	9
■使用方法	10～13
■着脱可能な部品(消耗品)	14
■着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)	14～18
■清掃方法	19～20
■日常点検・定期点検	21
■仕様	21
■アフターサービス	21
■技術情報	22～23

## 機器の表示記号

機器に表示されているマークについて、下記を参照すること。

	電撃に対する保護の程度による装着部の分類の「B形装着部」を意味します。
	ヒューズを意味します。
	保護接地を意味します。

## 安全上のご注意

本書ではお使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するため必ずお守りいただく内容を次のように説明しています。

- 安全に関わる注意事項を、その危険の大きさの程度によって、次の表示で区分して説明しています。

	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	「特別な事情により本医療機器を適用すべきでない患者についての情報」、「使用目的や適応患者等、製造販売業者の責任範囲を超える不適切な使用方法」、「併用してはならない医療機器」を示しています。
	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると「使用者が傷害を負う可能性が想定される内容や物的損害が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分して説明しています。

	してはいけない禁止事項を示しています。
	必ず実行していただく強制・指示事項を示しています。

<b>⚠ 警告</b>	
	・機器の改造は行わないでください。
	・植込み型心臓ペースメーカー又は植込み型除細動器を使用している患者において本装置の使用中、患者に異常が見られた場合は直ちに本製品の電源スイッチを切り、使用を中止してください。 (本製品から発せられる電磁波によりペースメーカー又は除細動器の機能に障害を与えるおそれがあります)

<b>⚠ 禁忌・禁止</b>	
	・義歯などのチタン材料、有機溶剤（レジン液、アルコールなど）の吸引はしないこと。 [チタン材料又は有機溶剤により火災等を引き起こす可能性があるため] ・液体の吸引はしないこと。[感電を引き起こす可能性があるため] ・口腔外サクションの目的以外で使用はしないこと。

 注意

 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードを外しての使用はしないこと。</li> <li>・アームに必要以上の荷重や衝撃を与えないこと。</li> <li>・過熱する恐れがある光等、熱源にさらしての使用、放置はしないこと。</li> <li>・吸引口付近に物を置かないこと。</li> <li>・センサースイッチの近くに、布や物を置かないこと。</li> <li>・患者及び幼児や子供が機器に触れないようにすること。</li> <li>・不具合状態及び未整備状態での使用はしないこと。 (未整備とは、保守点検を行っていない状態を言う)</li> <li>・変形、変色の恐れのある有機溶剤及び薬液の使用を使用しないこと。</li> <li>・ドライバー及び工具等を使用しての分解はしないこと。</li> <li>・歯科用ユニット又は無影灯などの機器を動かす際には、本製品に接触させないこと。 (患者への接触、あるいは本製品が破損するおそれがある)</li> </ul>
 <b>指示</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常・故障時には直ちに使用を中止すること。</li> <li>・お手入れの際は電源スイッチを「切」にしてから作業をすること。</li> <li>・アースを接続すること。</li> <li>・移動時はキャスターのストッパーを解除し、ハンドルを両手で掴むようにし、転倒しないようにすること。</li> <li>・機器使用時は、キャスターのストッパーをかけ、転倒しないようにすること。</li> </ul>

☆下記の原因により生じた故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- ① 当社または当社の指定した業者以外による改造・保守及び修理
- ② 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で、当社の製品が受けた故障・損傷
- ③ 当社指定の純正部品以外の補修部品の使用による改造・保守・修理
- ④ この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった場合
- ⑤ この取扱説明書に記載されている電源・設置環境など、本製品の使用条件を逸脱した周囲条件による場合
- ⑥ 火災・天災(地震・水害・落雷等)の場合

# 医療用電気機器の安全及び危険防止の為の使用上の注意事項

1. 歯科医師及びスタッフ以外は機器を使用しないこと。
2. 機器を設置するときには、次の事項に注意すること。
  - ①水のかからない場所に設置すること。
  - ②気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分・硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
  - ③傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
  - ④化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に設置しないこと。
  - ⑤電源の周波数と電圧及び許容電流値(又は消費電力)に注意すること。
  - ⑥設置場所には室温が5°Cから40°Cになるように必ず吸換気のある場所に設置を行うこと。
3. 機器を使用する前に次の事項に注意すること。
  - ①コードの接続が正確でかつ安全に接続されていることを確認すること。
4. 機器の使用中は次の事項に注意すること。
  - ①機器全般に異常のないことを絶えず監視すること。
  - ②機器に異常が発見された場合には機器の動作を止めるなど、適切な措置を講ずること。
  - ③機器に患者が触れることがないよう注意すること。
5. 機器の使用後は次の事項に注意すること。
  - ①定められた手順により使用前の状態に戻した後、電源スイッチを「切」にし、電源を遮断すること。
  - ②コード類の取り外しに際してはコードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
6. 故障した時は勝手にいじらず適切な処置を行い、修理は専門家に任せること。
7. 機器は改造しないこと。
8. 異常音がする場合は使用しないこと。
9. 保守点検
  - ①清掃の方法  
本取扱説明書【清掃方法】を参照。
  - ②しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動する事を確認すること。
  - ③使用中に異常が感じられた場合は電源スイッチを「切」にして、購入先または当社に連絡すること。
  - ④消耗品の交換  
本取扱説明書【着脱可能な部品の着脱方法】を参照。
  - ⑤吸引BOXは、3年以内に交換を当社又は当社指定の業者に依頼すること。

本装置使用中に異常が感じられた場合は、電源を遮断し、購入先または当社まで連絡すること。

## 輸送及び保管に関する環境条件について

輸送及び保管に関しては下記の内容に注意してください。

- ①傾斜、振動、衝撃などの無いように輸送及び保管を行うこと。
- ②水がかかるないように輸送及び保管を行うこと。
- ③気圧、風通し、日光、埃、塩分・硫黄分を含んだ空気などにより悪影響のない場所に輸送及び保管を行うこと。
- ④化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に保管しないこと。
- ⑤周囲温度範囲-10°Cから 40°C、相対湿度 20%から 90%(非結露)の範囲で輸送及び保管すること。

## 電磁適合性について

本製品は、医療用電気機器の電磁両立性の規格に適合しています。

ただし、生命維持機器など、電磁障害で重大な危険性が生じる恐れのある機器は、  
本製品の近くでは使用しないこと。

**EMC 適合**

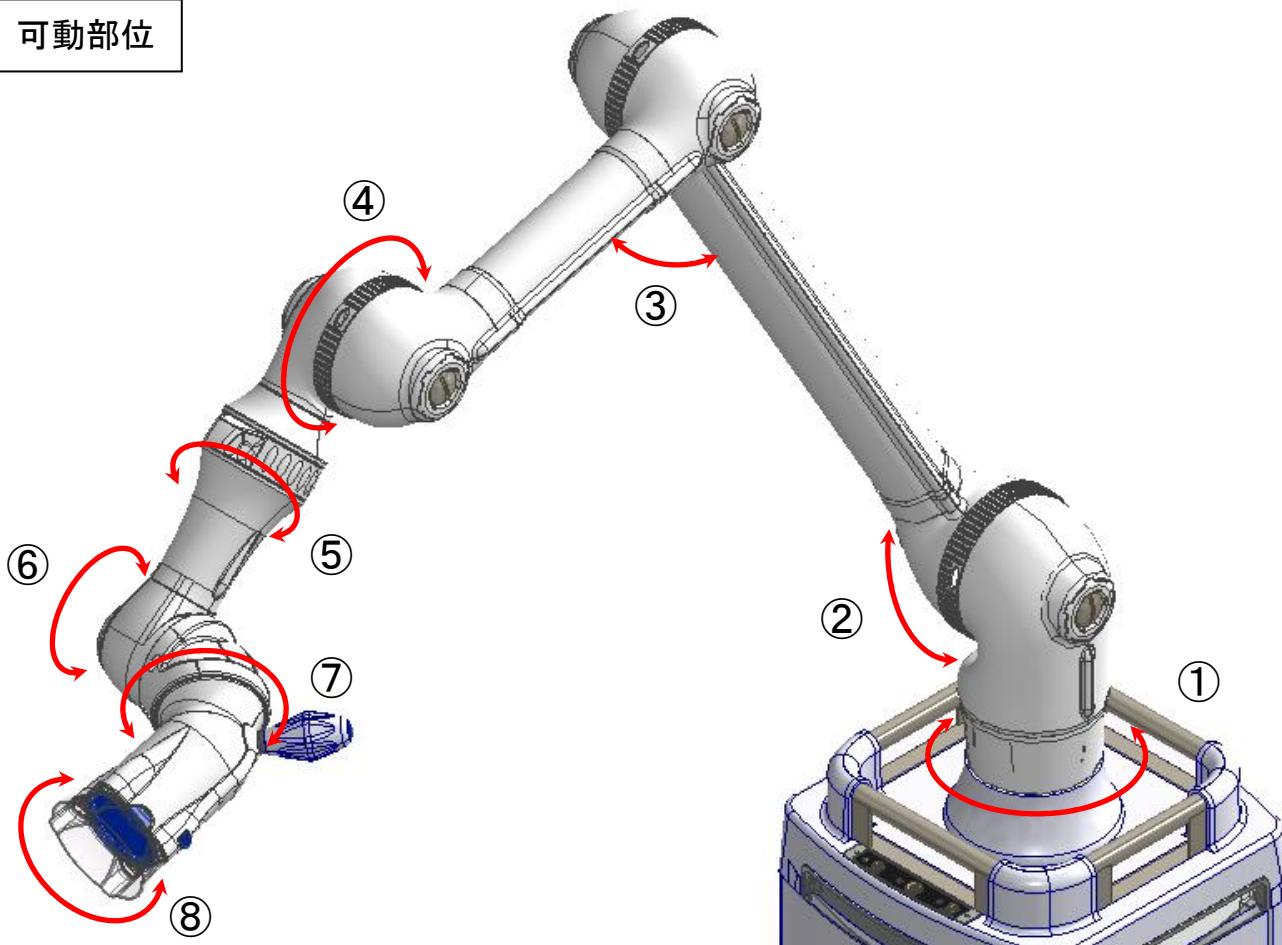
## 廃棄について(環境保護)

本製品、又は付属品を廃棄する場合は、環境への影響を制御するために、血液や病原微生物等が付着している  
恐れがある為、感染性廃棄物として滅菌消毒を行った上で、特別管理産業廃棄物の取得許可を取得している業者  
に処理委託を行うか、購入先又は当社までご連絡ください。

## 概要

- ・本製品は、歯科治療における高速切削等により口腔外に飛散する飛沫を除去する目的として使用し、吸引ポンプを内蔵した自立式の機器です。
- ・本装置はフード、アーム部、本体部で構成されています。
- ・可動部位は下図の①～⑧で、吸引口の位置を任意に設定できるアーム装置です。
- ・センサースイッチで吸引を「ON」「OFF」します。
- ・LED ライトスイッチを押すことにより、アーム部先端に内蔵している LED ライトが点灯し、患者様の口腔内を照射します。再度 LED ライトスイッチを押すと LED ライトが消灯します。
- ・サイレントフィルタを取り付けることにより吸引音が低下します。
- ・クリーニングモードを使用する事により、微風量で機器内部の水分を乾燥させる事ができ、1 時間後に自動停止します。

### 可動部位



### ⚠ 注意



指示

- ・各関節には、ストッパーがついていますので、一定以上の回転はできません。  
アームの位置決めは関節の可動範囲内で静かに操作すること。  
(大きな力をかけるとストッパーが破損し、故障の原因になります)
- ・各関節は回転方向に沿って操作し、それ以外の方向へ動かさないこと。
- ・フード部の先端がハンドルにぶつからないようにすること。

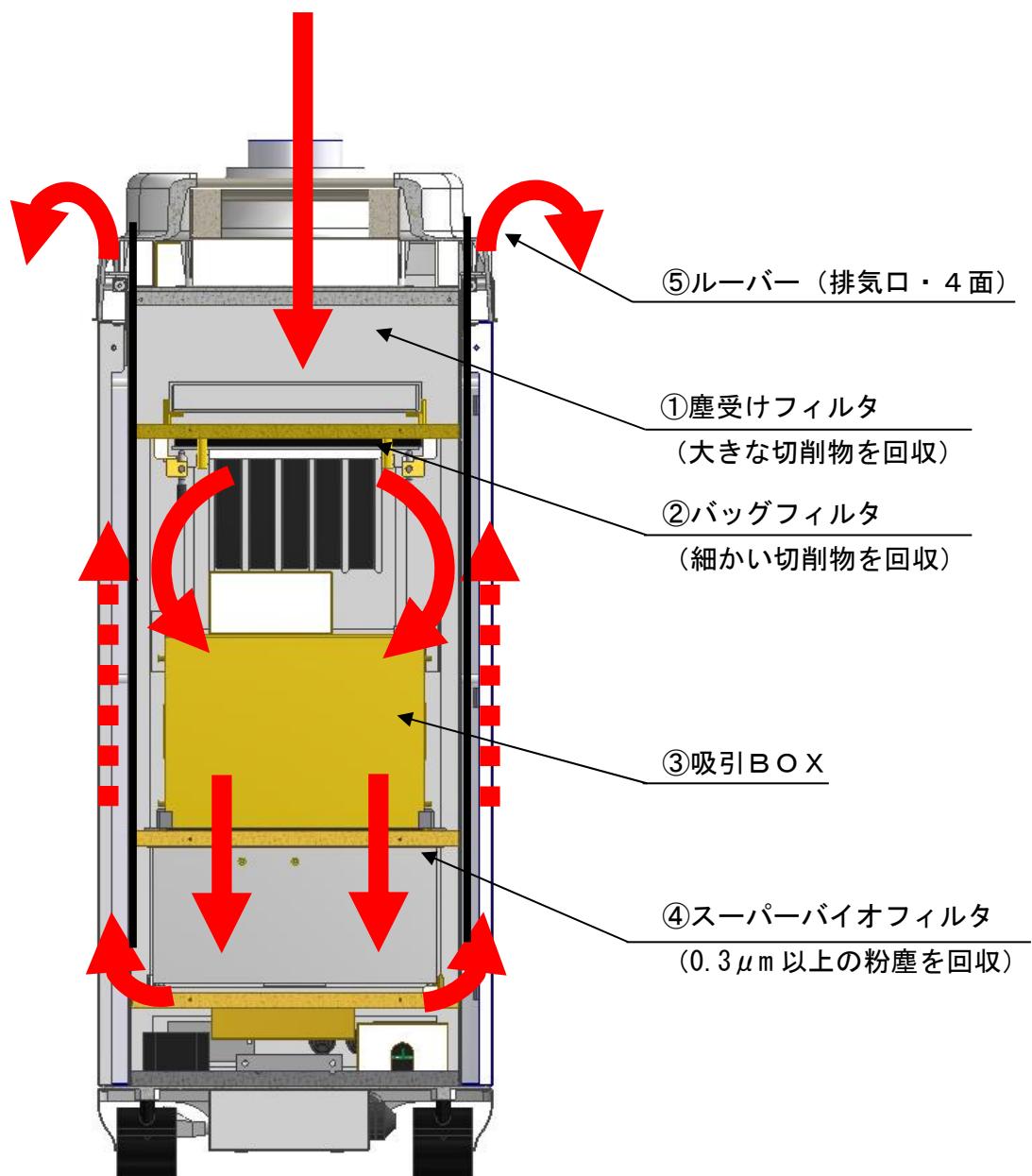
## 空気の流れ

吸引された空気は、最初に塵受けフィルタにより水分や大きな切削物が集められ、次いでバッグフィルタによってより細かい切削物が集められます。

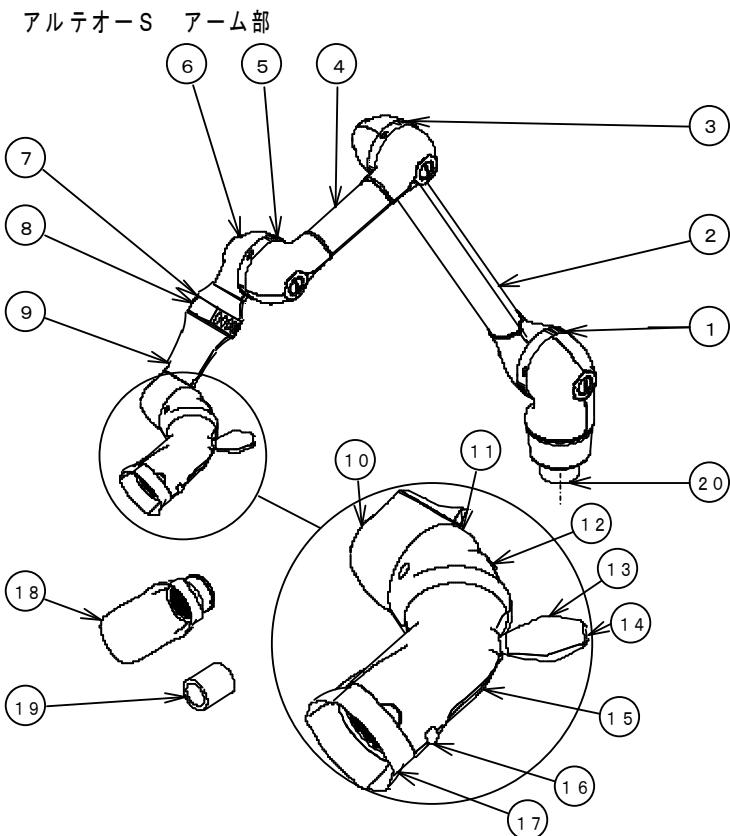
そして吸引 BOX からの排気は、スーパーバイオフィルタにより  $0.3 \mu\text{m}$  以上の粉塵が 99.97% 以上除かれます。

粉塵が取り除かれた排気はカバーと本体の間を通して上昇し、ルーバー（排気口）から排気されます。

ルーバーは任意の角度に調整出来るため、排気の向きをコントロール出来ます。

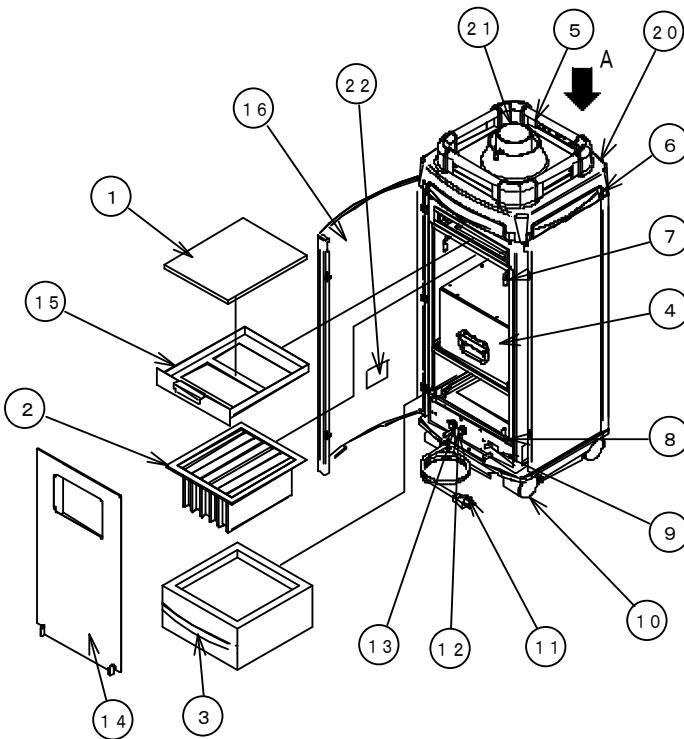


# 各部名称

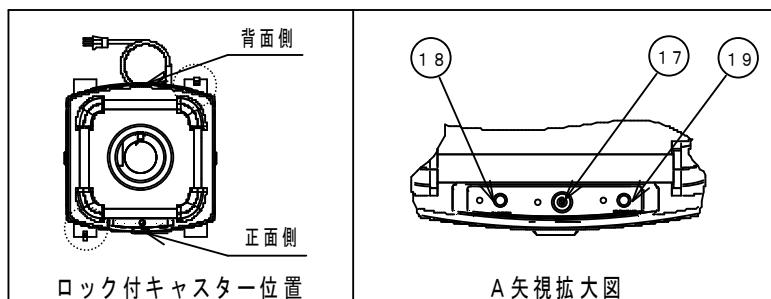


番号	名 称	備 考
1	第 1 関節	
2	第 1 アーム	
3	第 2 関節	
4	第 2 アーム	
5	第 3 関節	
6	第 3 アーム	
7	第 4 関節	
8	センサースイッチ	
9	第 4 アーム	
10	第 5 関節	
11	第 5 アーム	
12	第 6 関節	
13	グリップ	
14	LED ライトスイッチ	
15	第 6 アーム	
16	フードロックレバー	
17	アルテオ N フード	
18	アルテオ L フード	
19	サイレントフィルタ	消耗品
20	本体結合部	

アルテオ-S 本体部

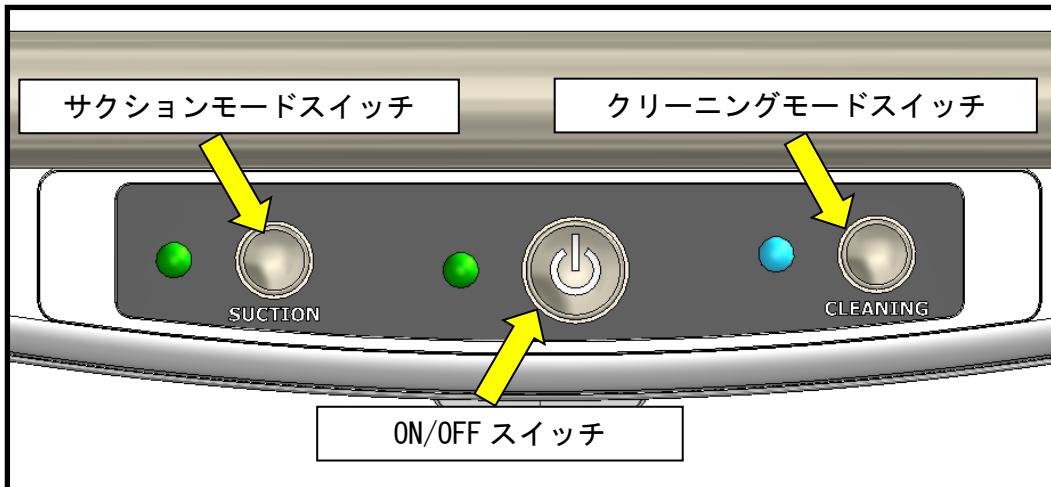


番号	名 称	備 考
1	チリ受けフィルタ	消耗品
2	バッグフィルタ	
3	スーパーバイオフィルタ	
4	吸引 BOX	
5	ハンドル	4ヶ
6	ルーバー	4ヶ
7	レバー 1	2ヶ
8	レバー 2	2ヶ
9	電源スイッチ(ブレーカ)	
10	キャスター(ストッパー有り)	2ヶ
	キャスター(ストッパー無し)	2ヶ
11	電源コード	
12	ヒューズ	2A×2ヶ
13	ヒューズホルダー	2ヶ
14	内カバー	
15	チリ受け引き出し	
16	カバー	
17	ON/OFFスイッチ	
18	サクションモードスイッチ	
19	クリーニングモードスイッチ	
20	上部カバー	
21	アーム挿入部	
22	銘板	



# 使用方法

## 【操作スイッチ】



### ●ON/OFF スイッチ

- ・電源スイッチが「入」の状態で ON/OFF スイッチを押すと、ON/OFF スイッチおよびサクションモードスイッチの表示灯（緑）が点灯し、サクションモードの待機状態になります。
- ・もう一度 ON/OFF スイッチを押すと、OFF になります。

### ●サクションモードスイッチ

- ・サクションモードスイッチの表示灯（緑）が点灯している時は、アルテオアームのセンサースイッチおよび LED ライトスイッチが使用出来る状態です。
- ・クリーニングモード動作中に、サクションモードスイッチを押すと、サクションモードの待機状態になります。
- ・ON/OFF スイッチが OFF の状態の時は、サクションモードスイッチを押してもサクションモードになりません。

### ●クリーニングモードスイッチ

- ・クリーニングモードスイッチの表示灯（青）が点灯している時は、クリーニングモードが作動している状態です。
- ・ON/OFF スイッチが OFF の状態の時は、クリーニングモードスイッチを押してもクリーニングモードは動作しません。
- ・クリーニングモードについての詳細は、本取扱説明書 P. 20 『クリーニングモード』をご確認ください。

# 使用方法

## 【準備】

- ・アーム部の支持が安定していることを確認します。
- ・フードが正しく装着されていることを確認します。
- ・電源コードの3Pプラグを単相交流100V・15A以上の専用アース付きコンセントに接続します。
- ・電源スイッチを「入」にしてカバーを閉めます。
- ・本体が移動しないようにキャスターのストップバーをかけてください。

## ⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>・誤吸引されないように吸引口付近に物を近づけうこと。</li></ul>
 指示	<ul style="list-style-type: none"><li>・アースを接続すること。 (アースが接続されていないと、静電気による誤作動(停止)が発生しやすくなります)</li><li>・キャスターのストップバーをかけ、転倒しないようにすること。</li></ul>

## 【位置決め】

- ・グリップを持ち、フードを治療の支障にならない程度に患者様の口元まで静かに近づけます。
- ・先端の微調整はグリップで行ってください。

## ⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>・フード持って操作しないこと。</li></ul>
 指示	<ul style="list-style-type: none"><li>・各関節には、ストップバーがついていますので、一定以上の回転はできません。 アームの位置決めは関節の可動範囲内で静かに操作すること。 (大きな力をかけるとストップバーが破損し、故障の原因になります)</li><li>・各関節は回転方向に沿って操作し、それ以外の方向へ動かさないこと。</li></ul>

# 使用方法

## 【始動】

- ・本体上面の ON/OFF スイッチを押して、ON/OFF スイッチとサクションモードスイッチの緑のランプが、それぞれ点灯していることをご確認ください。
- ・センサースイッチの垂直面上約 5cm に手を差し出すと吸引が始まります。

## ⚠ 警告



- ・植込み型心臓ペースメーカー又は植込み型除細動器を使用している患者において本装置の使用中、患者に異常が見られた場合は直ちに本製品の電源スイッチを切り、使用を中止してください。  
(本製品から発せられる電磁波によりペースメーカー又は除細動器の機能に障害を与えるおそれがあります)

## ⚠ 禁忌・禁止



- ・当社指定の除菌スプレー以外の有機溶剤、火気類、水等は吸引しないこと。
- ・チタン及び発火性のある金属の吸引には使用しないこと。

## ⚠ 注意



- ・センサースイッチの近くに、布や物を置かないこと。
- ・吸引口付近に物を置かないこと。
- ・過熱する恐れがある光等、熱源にさらしての使用、放置はさけること。
- ・本製品に必要以上の荷重をかけないこと。
- ・歯科用ユニット又は無影灯などの機器を動かす際には、本製品に接触させないこと。  
(患者への接触、あるいは本製品が破損するおそれがある)

## 【停止】

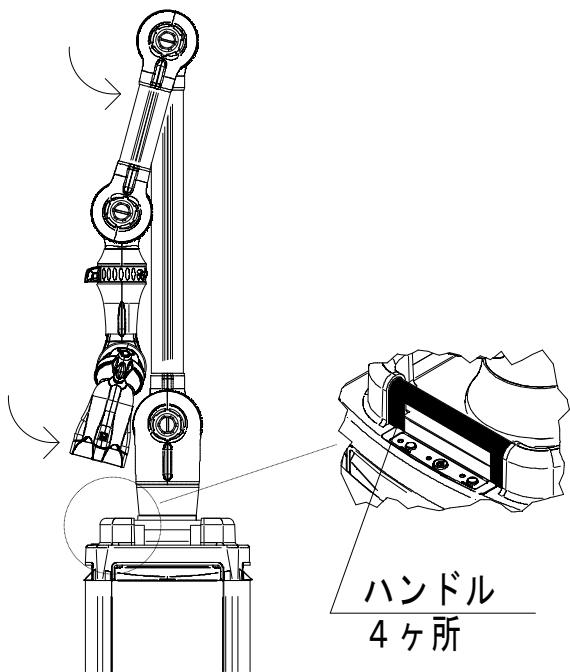
- ・再びセンサースイッチに手を差し出すと停止します。

## 【LED ライト】

- ・LED ライトスイッチを押すことにより、アーム部先端に内蔵している LED ライトが点灯し、患者様の口腔内を照射します。再度 LED ライトスイッチを押すと LED ライトが消灯します。

# 使用方法

## 【機器の移動】



- ・電源スイッチを「切」にして、カバーを閉めます。
- ・電源コードをコンセントから抜き、上図のようにアームをたたみます。
- ・本体のキャスター停止器を解除します。
- ・移動の準備が整ったら、ハンドルを両手で掴んで機器を所定位置まで移動させてください。

### ⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none"><li>・電源コードを差し込んだまま移動させないこと。</li><li>・アームを掴んで移動させうこと。(転倒の恐れあり)</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・電源スイッチを「切」にしてから移動させること。</li><li>・移動時はキャスターの停止器を解除し、ハンドルを両手で掴むようにすること。(転倒の恐れあり)</li><li>・必ずアームをたたんだ状態で移動させること。(転倒の恐れあり)</li><li>・移動時は他の機器、患者様及び壁等に接触しないように充分注意すること。</li><li>・アルテオ L フードの場合、アームをたたんだ際にハンドルにぶつからないように注意すること。(アルテオ L フードが破損する恐れあり)</li></ul>

## 【使い終わったら】

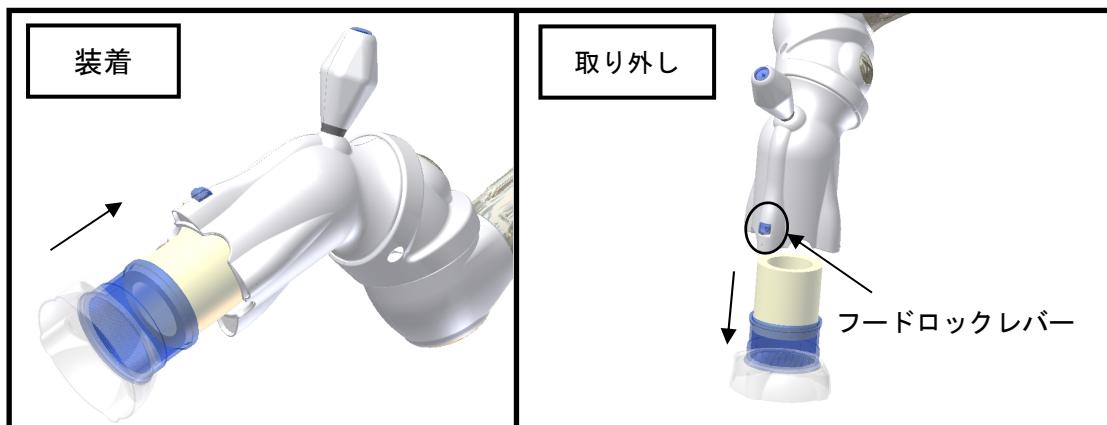
- ・患者様やユニットに接触しないように、診療の妨げにならない場所へアームの位置を変えてください。
- ・電源スイッチを「切」にして、電源を遮断してください。

## 着脱可能な部品(消耗品)

- ・アルテオ N フード・アルテオ L フード
- ・サイレントフィルタ
- ・塵受けフィルタ
- ・バッグフィルタ
- ・スーパーバイオフィルタ

## 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

### ●アルテオ N フード・アルテオ L フード



#### 【装着】

- ①ON/OFF スイッチを OFF にします。
- ②アルテオ N フードまたはアルテオ L フードを第 6 アーム先端へ差し込みます。  
サイレントフィルタを装着する際は、サイレントフィルタをフードへ差し込みます。  
(フードに 10~20mm 程度差し込むと、最も消音効果が高まります。)
- ③カチッと音がして、ロックされるまで押し込みます。
- ④アルテオ N フードまたはアルテオ L フードが、外れない事を確認してからご使用ください。

#### 【取り外し】

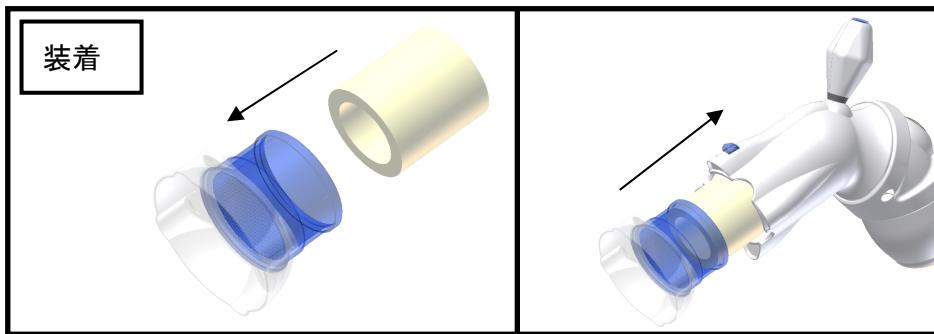
- ①ON/OFF スイッチを OFF にします。
- ②第 6 アーム先端を下向きにします。
- ③フードロックレバーを押しながら、アルテオ N フードまたはアルテオ L フードを取り外します。  
サイレントフィルタ装着時は、サイレントフィルタの落下に気をつけてください。
- ④交換し終わったフードは本取扱説明書 P6. 『廃棄について』に基づいて処理してください。

### ⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none"><li>・サイレントフィルタはテープ構造で止まっているため、無理に押し込み過ぎうこと。 (破損の恐れあり)</li><li>・フードは落下等の衝撃を加えないこと。(破損の恐れあり)</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ON/OFF スイッチを OFF にしてから行うこと。</li><li>・グローブを着用すること。(感染防止のため)</li></ul>

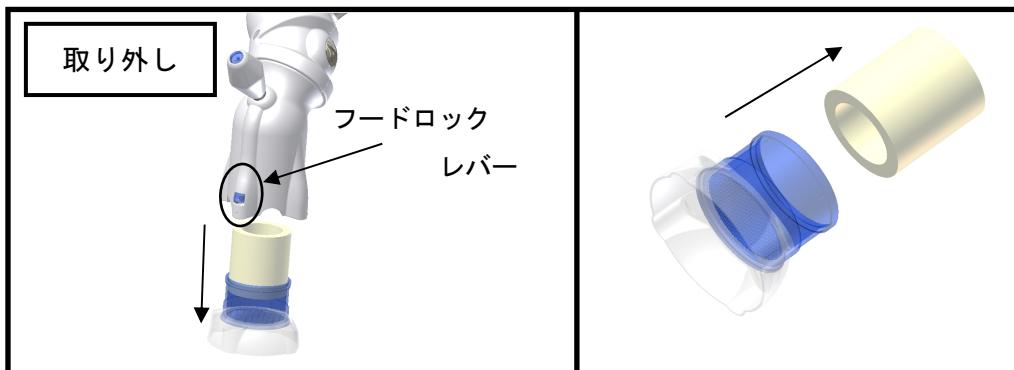
## 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

### ●サイレントフィルタ



#### 【装着】

- ①ON／OFFスイッチを OFF にします。
- ②サイレントフィルタをフードへ差し込みます。  
(フードに 10~20mm 程度差し込むと、最も消音効果が高まります。)
- ③フードを第 6 アーム先端へ差し込みます。
- ④カチッと音がして、ロックされるまで押し込みます。
- ⑤フードが外れない事を確認してからご使用ください。



#### 【取り外し】

- ①ON／OFFスイッチを OFF にします。
- ②第 6 アーム先端を下向きにします。
- ③フードロックレバーを押しながらフードを取り外します。  
(サイレントフィルタの落下に気をつけてください。)
- ④フードに付いているサイレントフィルタを取り外します。
- ⑤交換し終わったサイレントフィルタは、本取扱説明書 P6. 『廃棄について』に基づいて処理してください。

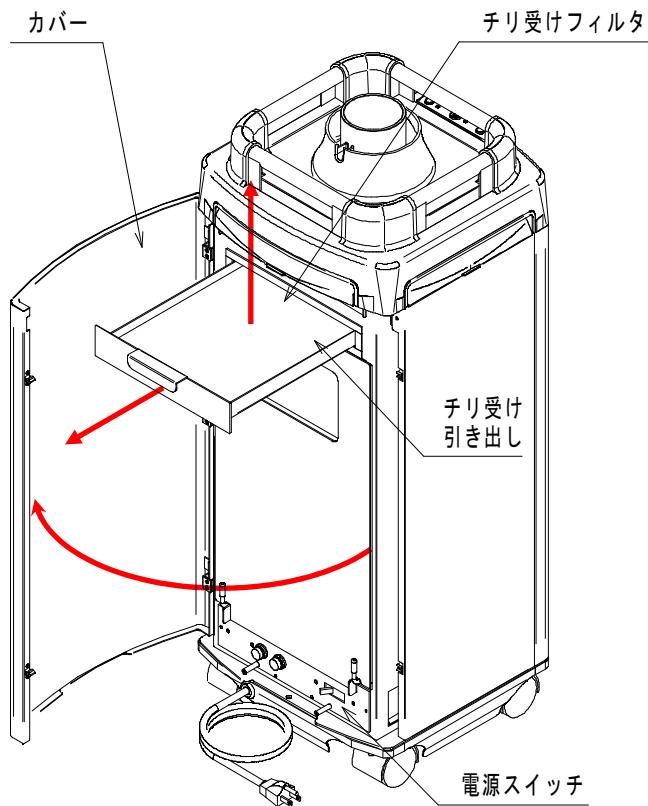
### ⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none"><li>・サイレントフィルタはテープ構造で止まっているため、無理に押し込み過ぎうこと。 (破損の恐れあり)</li><li>・フードは落下等の衝撃を加えないこと。(破損の恐れあり)</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ON／OFFスイッチを OFF にしてから行うこと。</li><li>・グローブを着用すること。(感染防止のため)</li></ul>

## 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

### ●塵受けフィルタ

- ①カバーを開き、電源スイッチを「切」にします。
  - ②塵受け引き出しを開けて、塵受けフィルタを交換します。
- ※交換時期の目安：約1ヶ月
- ③交換し終わった塵受けフィルタは本取扱説明書 P6.『廃棄について』に基づいて処理してください。



### ⚠ 注意

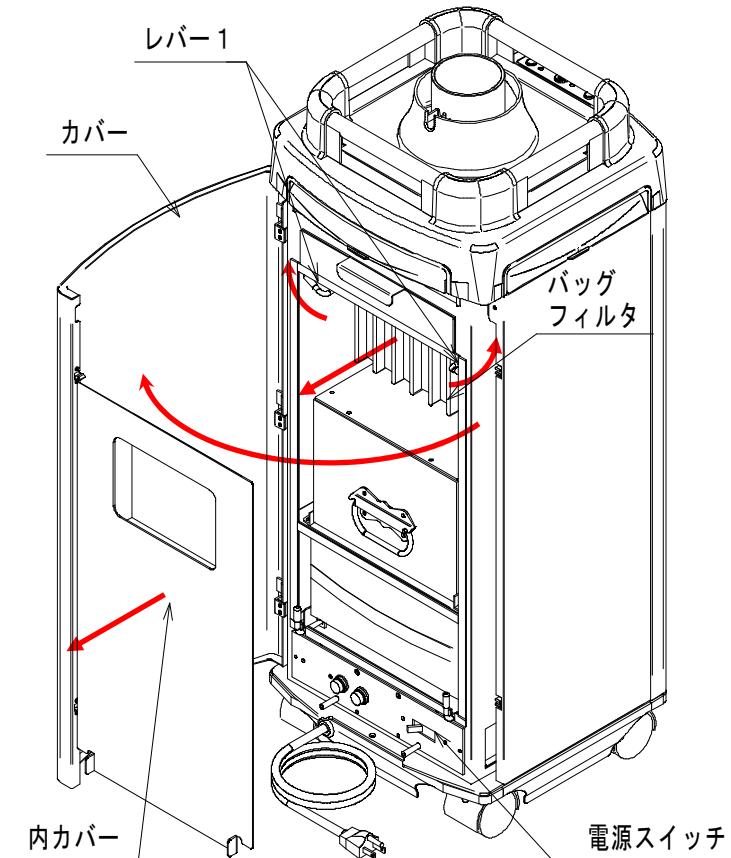


- ・電源スイッチを「切」にしてから行うこと。  
・グローブを着用すること。(感染防止のため)

## 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

### ●バッグフィルタ

- ①カバーを開き、電源スイッチを「切」にします。
  - ②内カバーを外します。
  - ③両端のレバー1を矢印の方向に回し、バッグフィルタを交換します。
- ※交換時期の目安：約6ヶ月
- ④交換し終わったバックフィルタは本取扱説明書 P6.『廃棄について』に基づいて処理してください。



### ⚠ 注意

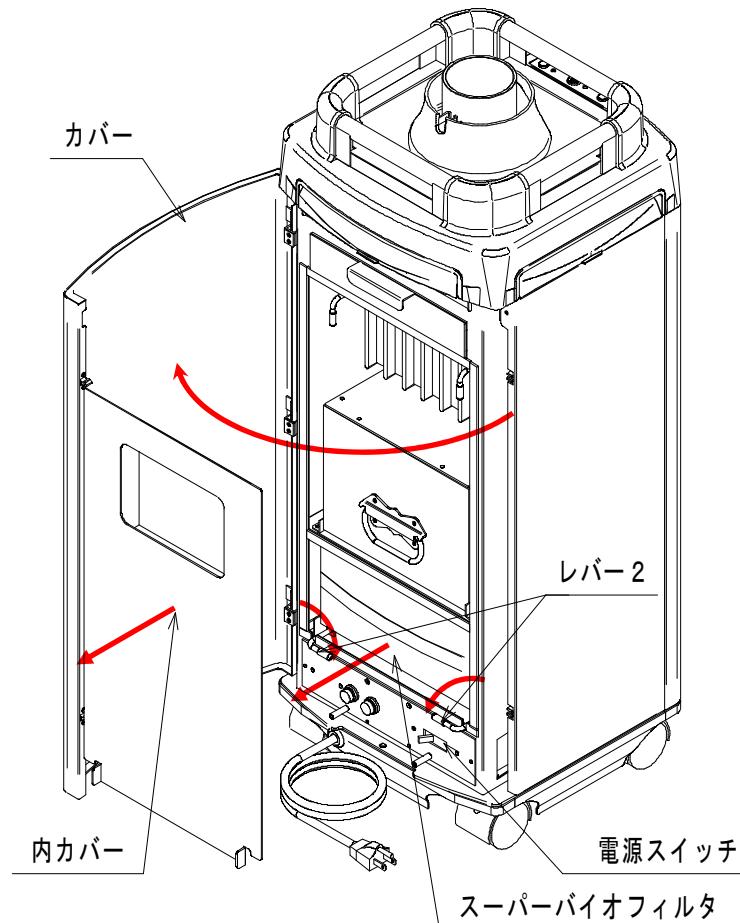


- 指示
- ・電源スイッチを「切」にしてから行うこと。
  - ・グローブを着用すること。(感染防止のため)

## 着脱可能な部品の着脱方法(消耗品の交換方法)

### ●スーパーバイオフィルタ

- ①カバーを開き、電源スイッチを「切」にします。
  - ②内カバーを外します。
  - ③両端のレバー2を矢印の方向に回し、スーパーバイオフィルタを交換します。
- ※交換時期の目安：約3年
- ④交換し終わったスーパーバイオフィルタは本取扱説明書 P6.『廃棄について』に基づいて処理してください。



### ⚠ 注意



- 指示
- ・電源スイッチを「切」にしてから行うこと。
  - ・グローブを着用すること。(感染防止のため)

## 清掃方法

アルテオ N フード・アルテオ L フード及び装置の清掃時は、必ず電源スイッチを「切」にして、本機が作動しない事をご確認ください。

### ●アルテオ N フード・アルテオ L フードの清掃

パワーミスト 2 を使用して清掃、又はオートクレーブ滅菌を行ってください。

### ●装置の清掃

外観の清掃…パワーミスト 2 を使用して清掃、又は柔らかい布に水か中性洗剤を少量含ませて軽く拭いてください。

吸引管路内部の清掃…お掃除キットを使用して清掃してください。

(詳しくは、お掃除キットのパワーミスト 2 の缶に記載しています使用方法をご確認ください)

### ⚠ 禁忌・禁止

 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>当社指定の除菌スプレー以外の有機溶剤、火気類、水等は吸引しないでください。</li></ul>
 指示	<ul style="list-style-type: none"><li>感染防止のため、グローブを着用して行ってください。</li></ul>

### ⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>上記以外の方法による清掃は行かないこと。</li><li>センサースイッチに押し込むような力を加えないこと。</li><li>アルテオ N フード・アルテオ L フードをオートクレーブ滅菌する際に 121°C より高い乾燥工程は行わないでください。</li><li>温度制御ができない乾燥工程は行わないでください。</li><li>アルテオ N フード・アルテオ L フードに超音波洗浄を使用しないでください。 (ヒビ割れ、フード外れなどの破損の原因となります)</li><li>オートクレーブ滅菌後は十分冷却されるまで力を加えないこと。</li></ul>
 指示	<ul style="list-style-type: none"><li>電源スイッチを「切」にしてから行うこと。</li><li>アルテオ N フード・アルテオ L フードをオートクレーブ滅菌する際は 121°C 以下で実施してください。(フードのオートクレーブ滅菌の耐用回数は約 30 回です)</li><li>アルテオ N フード・アルテオ L フードの洗浄・消毒に薬剤を用いる場合には、ヒビ割れ、フード外れなどの破損となる場合があるため、薬剤の注意事項を確認すること。</li></ul>

※アルテオ N フード・アルテオ L フードはオートクレーブ滅菌を繰り返すことにより、色味に若干の変化が発生することがあります。

# 清掃方法

## ●クリーニングモード

1日の診療終了後作動させてください。

①本体上面の ON/OFF スイッチを押して、クリーニングモードスイッチを押してください。微風量で吸引し、機器内部の水分を乾燥させます。

(クリーニングモード作動中は、センサースイッチ及び LED ライトは使用できません。)

②1時間後に、自動的に停止します。

クリーニングモード作動中にサクションモードに切替える場合はサクションモードスイッチを押してください。

## ⚠ 注意



- ・サクションモードをクリーニングモードとしてご使用しないこと。  
(機器の寿命が短くなります)

## 日常点検・定期点検

### 日常点検（使用者による点検）

始業前	装置の外観構成品に異常がないこと	ヒビ・変形などがないかご確認ください。
患者ごと	アルテオ N フード・アルテオ L フードの清掃	本取扱説明書の P19. 清掃方法を確認ください。
終業後	装置の清掃	本取扱説明書の P19.、P20 清掃方法を確認ください。

### 定期点検（使用者による点検）

1ヶ月ごと	塵受けフィルタの交換	本取扱説明書の P16. 着脱可能な部品の着脱方法（消耗品の交換方法）をご確認ください。
6ヶ月ごと	バックフィルタの交換	本取扱説明書の P17. 着脱可能な部品の着脱方法（消耗品の交換方法）をご確認ください。
3年ごと	スーパーバイオフィルタの交換	本取扱説明書の P18. 着脱可能な部品の着脱方法（消耗品の交換方法）をご確認ください。

### 定期点検（業者に依頼する点検）

3年ごと	吸引 BOX	当社または、当社の指定する業者までご依頼ください。
------	--------	---------------------------

異常が感じられた場合は、電源を遮断し、購入先または当社までご連絡ください。

## 仕様

型式	アルテオーS
電源	単相交流 100V
電流	14A
周波数	50/60Hz
ヒューズ	交流 125V 2A B 種溶断型
電擊に対する保護の形式	クラス I 機器
電擊に対する保護の程度による装着部の分類	B 形装着部
作動モード	連続
水の浸入に対する保護の程度	IPX0
空気・可燃性麻醉ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻醉ガスのある中での使用の安全性の程度	空気・可燃性麻醉ガス、又は酸素又は亜酸化窒素・可燃性麻醉中での使用に適しない機器

※記載された数値は保証値ではございません。

※仕様は予告なく変更する場合がございます。取付時はご確認ください。

## アフターサービス

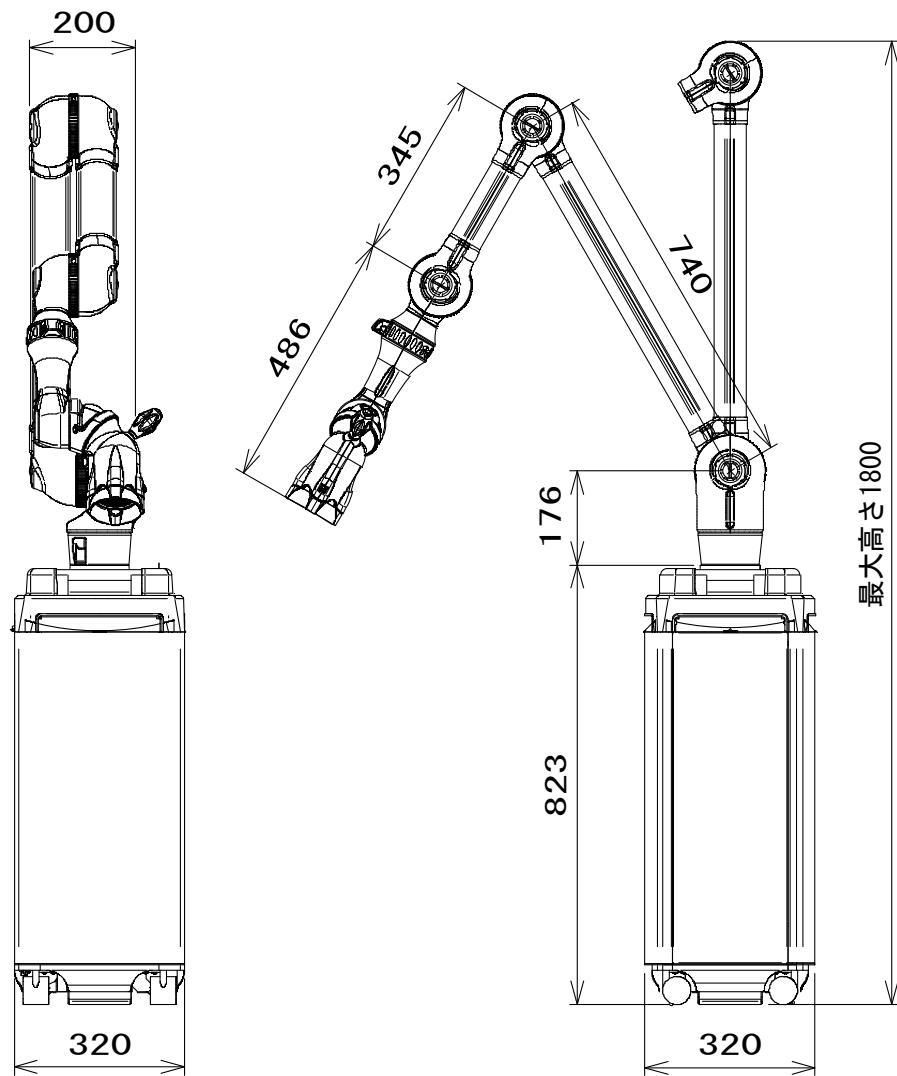
保証書は記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間は1年間です。

保証期間中の修理は保証書の記載内容により無償修理いたします。

保証期間経過後の修理は、購入先または当社までご相談ください。

a) 吸引システムの各部品の外形寸法



フードのメッシュ寸法 :  $\phi 3\text{mm}$

\* 寸法は予告なく変更することが御座います。

\* 寸法単位は mm(公差 $\pm 10\text{mm}$ )

b) 該当する場合、ベースプレート及び立ち上がり部の全寸法及び日常点検部位

本取扱説明書 P5. 【保守点検】を参照。

c) 立ち上がり部における接続・保持方法、電源供給部の詳細

電源供給は、P10. からの【使用方法】を参照

d) 吸引システムを現場で組み立て、設置するための情報

該当せず

e) 電気的特性(電圧、周波数、ヒューズ定格)

本取扱説明書 P21. 【仕様】を参照

f) 吸引システムの清掃及び消毒方法

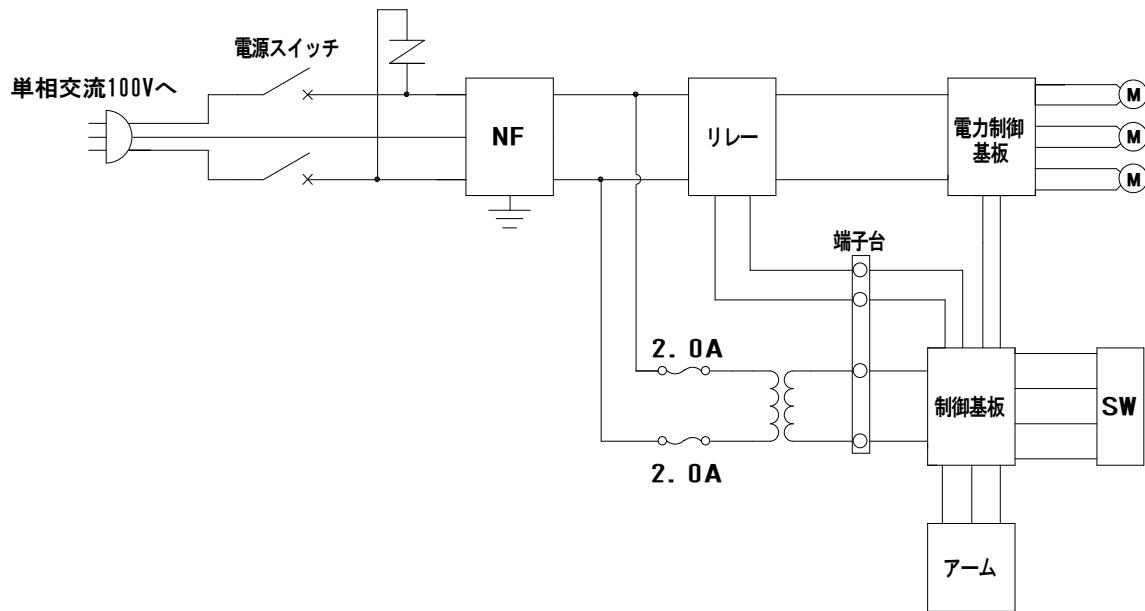
本取扱説明書 P19.、P20 【清掃の方法】を参照

g) 吸引システム専用に設計された取付品

該当せず

h) 予備部品の一覧表  
該当せず

i) 概略の配線図



j) 歯科診療室に吸引システムを設置する際の最低必要部品、及び推奨事項  
該当せず

k) 該当する場合、指定される最低圧力  
該当せず

l) 吸引システムのタイプ  
口腔外、自立式

## 保証書

本証書は、本証書に記載された製造番号（シリアル番号又はロット番号）の商品が、当社に於いて入念に製作し厳密な検査を完了して出荷されたものであることを証明し、かつ納入後1年以内に万が一発生した自然故障に対し、当社が無償修理の責任を負うことを保証するものです。

製品名 製造番号 (シリアル番号 又は ロット番号)	当社指定の製造番号が入ったシールを 貼付していないものは無効です
※ご住所	〒  TEL ( )
※ご芳名	様
※納入日	年 月 日
保証期間	納入日より1年間
※販売店名	

※ご住所・ご芳名・納入日・販売店名の欄に記載がない場合は無効になります。

### 保証内容

- (1) 「正常な使用状態」において「製造上の責任」による故障について保証適用します。
- (2) 次の場合は保証期間中でも「有償修理」となります。  
(イ) 取扱説明書及び添付文書等に記載された注意事項・使用環境・使用方法  
・日常点検及び保守点検等を遵守しなかったことによる故障  
(ロ) 火災、地震等天災又は異常電圧等による故障  
(ハ) 保証書の所定事項の未記入、押印もれ、又は文字を勝手に訂正された場合等  
(二) 製品に付属している消耗品等
- (3) 保証期間経過後又は保証適用外の故障につきましても、誠意をもって  
修理いたします（実費修理となります）

歯科用セントラルサクションシステムの専門メーカー



URL: <http://www.tokyogiken.com> E-mail: TG@tokyogiken.com

本 社 : 〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13  
TEL : 03-3703-5581(代) FAX : 03-3705-1760

大 阪 支 店 : 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町59-5  
TEL : 06-6368-8877 FAX : 06-6368-8876

仙 台 営 業 所 : 〒981-3112 仙台市泉区八乙女4-10-4  
TEL : 022-371-9651 FAX : 022-371-9653

名 古 屋 営 業 所 : 〒465-0007 名古屋市名東区香坂1001  
TEL : 052-776-3355 FAX : 052-776-3356

福 岡 営 業 所 : 〒812-0015 福岡市博多区山王1-15-7  
TEL : 092-411-0377 FAX : 092-411-0376

横 浜 工 場 : 〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-42-37

※仕様は予告なく変更する場合がございます。

TGYA1-01V-15001F  
B1468-41-K153F